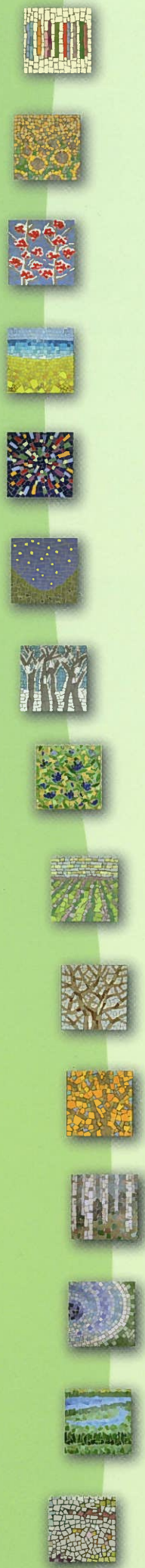


KAWASAKI MUNICIPAL TAMAHOSPITAL



# 川崎市立多摩病院



指定管理者学校法人

聖マリアンナ医科大学



学校法人 聖マリアンナ医科大学  
理事長  
**明石勝也**

川崎市における北部地域の医療提供体制の充実を目指して、川崎市にとって三番目となる市立多摩病院が平成18年2月に開設されました。運営にあたっては公立病院改革の一環として公設民営の一つのスタイルである指定管理者制度が導入され、公募を経て私ども聖マリアンナ医科大学がご指名をいただきました。病院の基本構想立ち上げの段階から川崎市との協議に参加をさせていただきましたが、本学のホームタウンである川崎市北部の医療の充実に向けては地域への特別な思いを抱いて運営を続けております。

多摩病院は聖マリアンナ医科大学病院からわずか5キロの至近距離にあることを利点とし、市立病院として求められるすべての機能を満たしながら、大学病院で展開される高度で先進的な医療にも容易にアクセスでき、重症救急症例、重複する緊急手術など想定以上のマンパワーを要する状況への対応には、医師の緊急派遣も含めた聖マリアンナ医科大学病院の全面的なバックアップが行われています。

地域の方々に愛され、信頼される病院づくりを今後も進めて参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。







川崎市立多摩病院  
病院長  
鈴木 通博

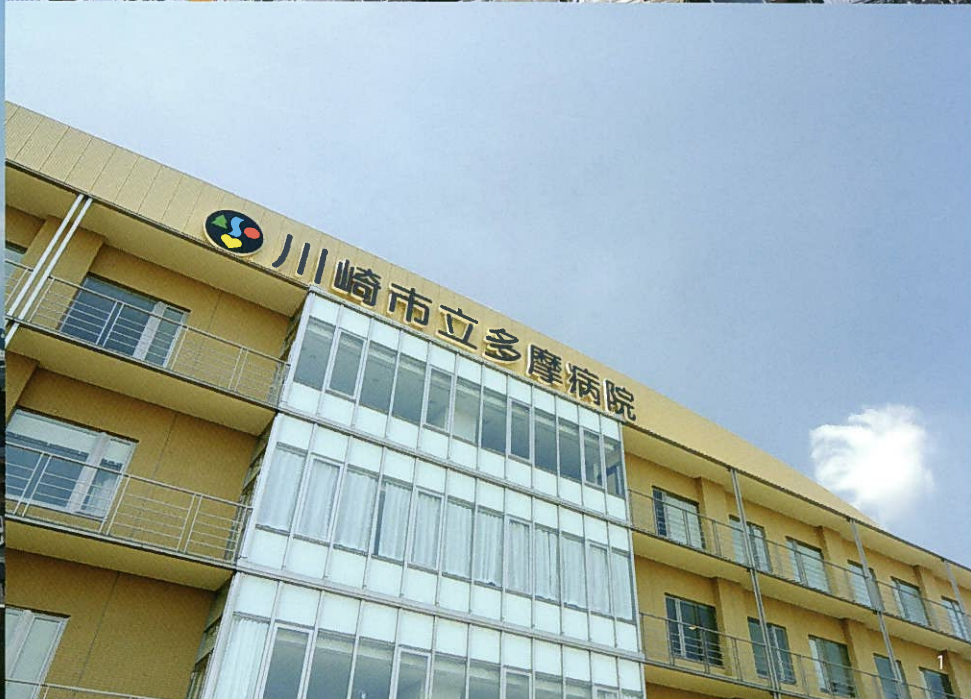
川崎市立多摩病院は、川崎市が設立し、聖マリアナ医科大学が指定管理者制度のもとに運営する公設民営の病院であります。平成18年2月の開院以来、救急医療、災害時医療を中心とした急性期医療を担う基幹病院として運営され成長を遂げてきました。さらに、平成23年からは地域医療支援病院の承認を受け、地域を意識した『市民のための病院』として多摩病院の果たす役割を明らかにしてきました。一方、病院機能の整備においては、平成26年2月に当院で2回目となる病院機能評価を受審し、高い評価で認定されました。職員一同この評価に恥じぬよう、市民の皆様の期待に応えるべき市立病院としての使命を果たしていききたいと思います。

少子高齢化が進む現在においても、川崎市の人口の増加は、平成26年の人口動態調査では福岡市に次ぐ全国2位の年間10,000人以上を認めています。市民の皆様の小児救急に対するニーズは依然として高く、今後も十分なスタッフによる救急対応を行っていきます。一方、高齢者医療においては、近隣の先生方からご紹介頂いた患者さんをよりスムーズに受け入れることが重要と考え、救急患者を中心に臓器、疾患、症状を超えて患者さんを横断的に診療する総合的な内科診療体制を開始しました。

社会情勢は日々変化しています。今後も多摩病院は、安心・安全な医療を地域へ提供しつづける市立病院として全職員一丸となって努力して参ります。何卒よろしくお願いたします。



屋上ヘリポートから見る多摩川





## 理 念

私たちは、市民がいつでも、安心して満足できる、愛ある医療を提供します。

### 病院の基本方針

医療スタッフ連携のもとに最適な医療を提供します。

24時間、365日、救急・災害時医療を提供します。

地域の医療・保健・福祉と密接に連携します。

市民の健康保持増進と疾病予防に努めます。

良質な医療を行う医療人を育てます。

環境に優しい医療を提供します。

医療資源を大切に効率的な運営をします。

安全で安心な医療を提供できる職場環境を作ります。

### 患者さんの権利と責務

#### I 権 利

どなたも平等に、適切な医療サービスを受けられます。

病気と治療について、十分な情報と説明を受けたうえで、治療方針を、ご自分の意思で決められます。

医療者の教育や実習・研究的治療への協力を求められても断れます。

意思に反する医療の提供及び教育・研究への協力を拒否しても、何ら不利益を被ることはありません。

診療情報が保護されプライバシーは尊重されます。

診療に関する記録の開示を受けることができます。

セカンドオピニオンを求めることができます。

#### II 責 務

ご自分の体調等の情報を正確に医療者に伝える責務があります。

治療方針の決定について、ご自分の意思を明らかにする責務があります。

治療に必要な診療上の指示を守る責務があります。

病院の快適な療養環境を維持する責務があります。

#### 患者さんへのお願い

※院内での暴言・暴力や迷惑行為、および器物破損行為を禁止します。

※診療を阻害するような迷惑行為などがあった場合、ご自分やご家族の意思に関わらず診療をお断りし、退去していただくことがあります。

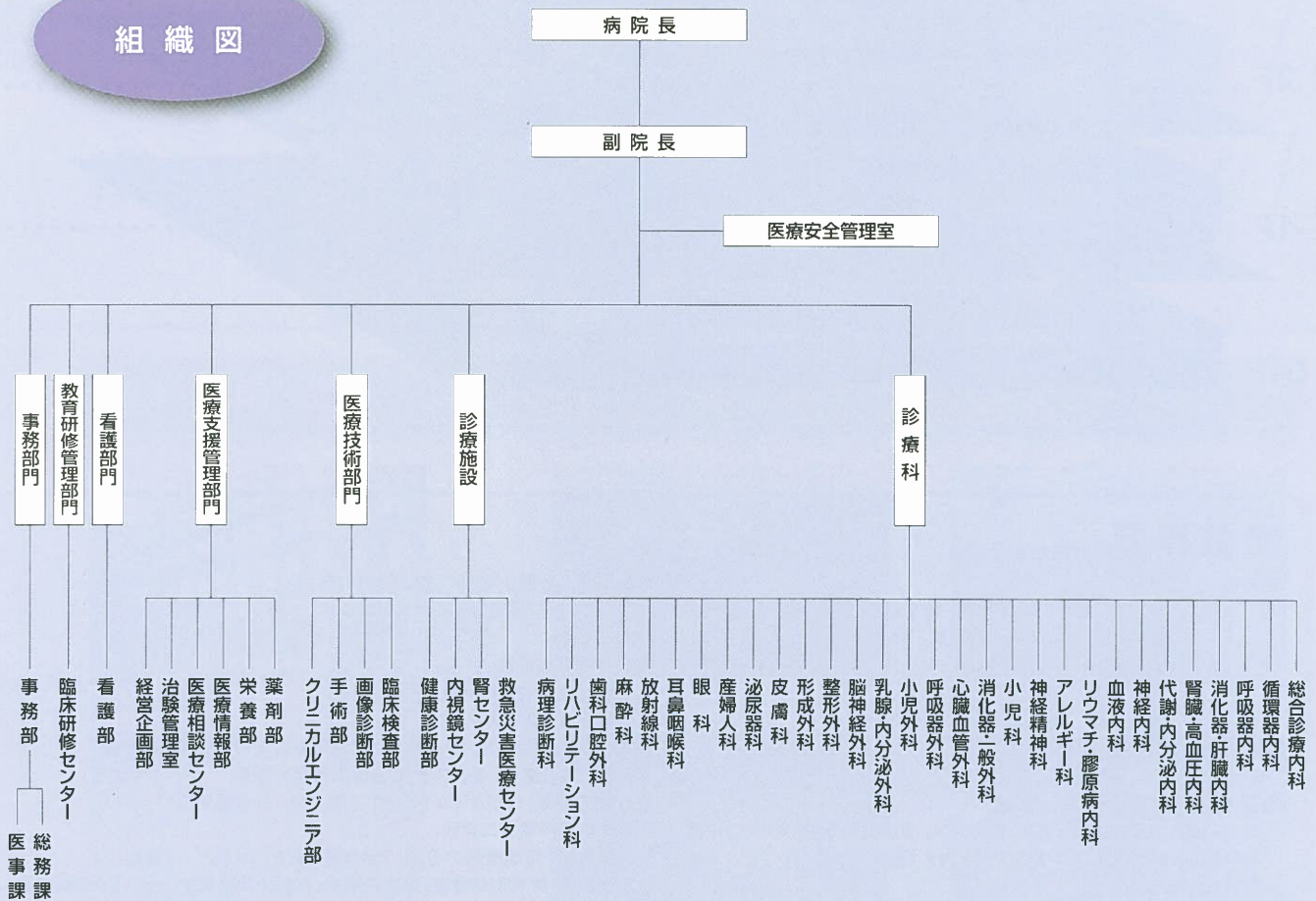
病院の安全を守り、診療を円滑に行うと共に、最善の医療を提供するために、ご協力をお願いいたします。



## 診療科目

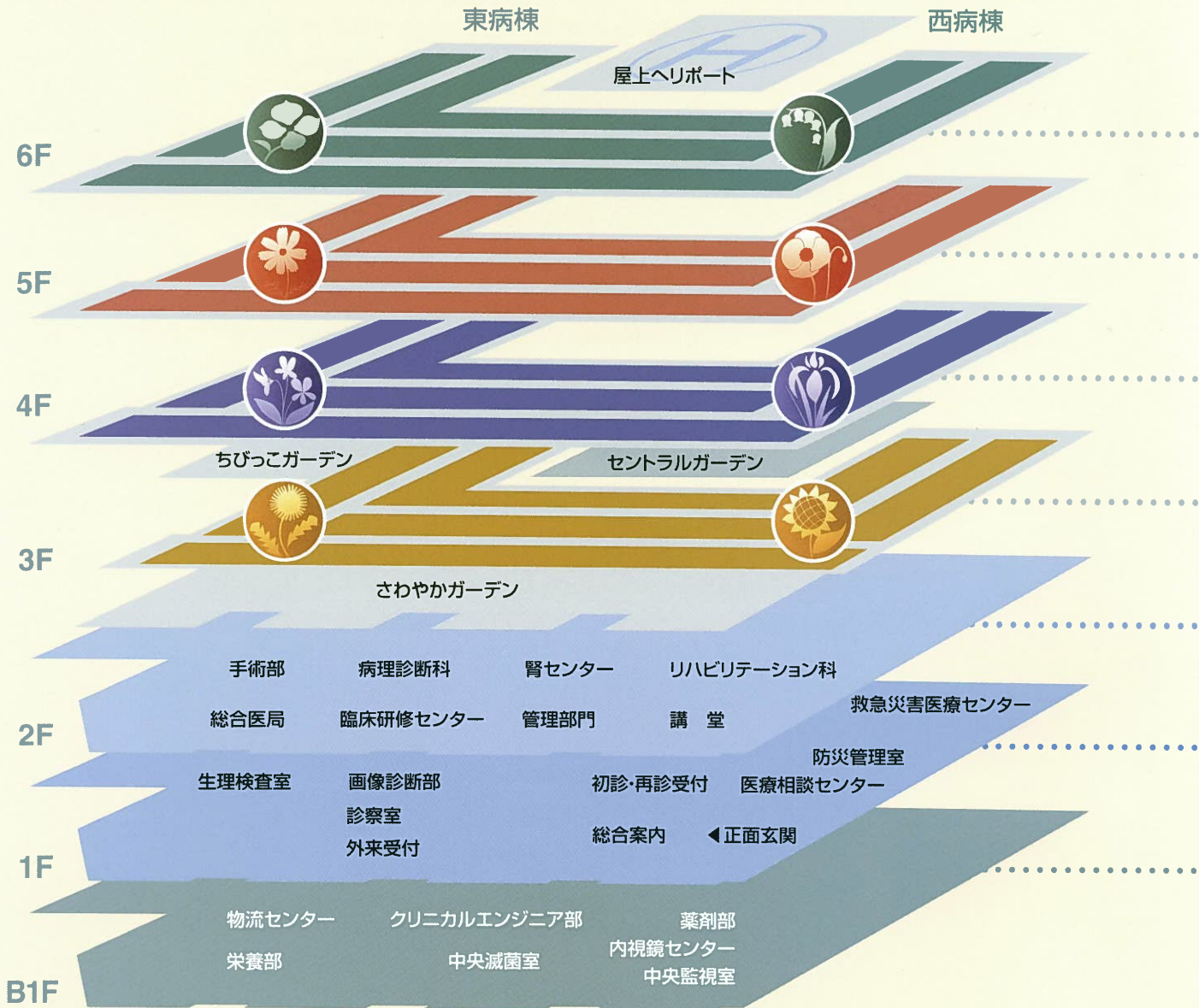
- 総合診療内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 消化器・肝臓内科
- 腎臓・高血圧内科
- 代謝・内分泌内科
- 神経内科
- 血液内科
- リウマチ・膠原病内科
- アレルギー科
- 神経精神科
- 小児科
- 消化器・一般外科
- 心臓血管外科
- 呼吸器外科
- 小児外科
- 乳腺・内分泌外科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 形成外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- 歯科口腔外科
- リハビリテーション科
- 病理診断科

## 組織図



# 概要

本病院は24時間365日の救急医療・小児救急医療・災害時医療を主軸とする、急性期医療を担う中核的な医療機関です。川崎市北部の医療ニーズに的確に応えるため、救急災害医療センターを始め多様な診療施設や、総合医療情報システム（電子カルテ）などの最新システムを導入。また、地域医療支援病院としても認定され、全スタッフが一丸となって、最良の医療の提供をめざしています。



## 建設概要

病床数	376床
規模	病院棟 SRC(免震構造) 地下2階 地上6階 塔屋1階 駐車場棟 RC造 地下3階 地上1階
面積	敷地面積 14,260.73㎡
	建築面積 6,826.20㎡
	延べ面積 35,620.15㎡
駐車台数	178台

### ■設備の特徴(省エネルギー手法)

- ・コージェネレーションシステム：都市ガス、ガスエンジン400kVA×2基
- ・燃料電池：都市ガス、リン酸型200kW×1基
- ・蓄電池設備
- ・氷蓄熱空調システム：夜間の安価な電力利用
- ・中水道設備：屋根降雨及び雑用水を処理し、トイレ洗浄水として利用
- ・太陽光発電システム：20kWをマルチパネルに組み込む

- ・大温度差空調システム：搬送動力の低減
- ・ガスタービン発電装置 1,000kVA

### ■災害時対策設備

- ・免震構造：病院棟
- ・耐震構造：駐車場棟
- ・水の備蓄、汚水の貯留：約7日分の水量を貯留できる水槽を設置
- ・医療ガスの備蓄：各ガスとも7日分の容量を確保
- ・燃料の備蓄：地下オイルタンクに灯油を約7日分備蓄
- ・重要機器の電源二重化
- ・熱源機器、空調機器の分割：2台設置、相互バックアップ体制
- ・浸水対策：非常用発電機、サブ変電所、医療ガス機械室などを上層階に設置
- ・屋上ヘリポート





すみれ 6F東病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー

48床



すずらん 6F西病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー

48床

6F



ひまわり 5F東病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー

48床



ひなげし 5F西病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー

48床

5F



すみれ 4F東病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー

48床



あやめ 4F西病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー

48床

4F



たんぽぽ 3F東病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー/プレイルーム/ちびっこガーデン

48床



ひまわり 3F西病棟  
ワークステーション/病室/観察・処置室  
デイコーナー/NCU/新生児室/分娩室

30床

3F

リハビリテーション科/腎センター/麻酔科/外来化学療法室/日帰り手術/手術部/検体検査室/病理診断科  
医療情報部/管理部門/総合医局/臨床研修センター/図書室/講堂/カフェテリア

2F

ICU・CCU  
10床

総合案内/西外来/東外来/臨床検査部/生理検査室/画像診断部/医療相談センター/医事課/健康診断部  
救急災害医療センター/集中治療室/防災管理室/赤ちゃん休憩コーナー/コーヒーショップ

1F

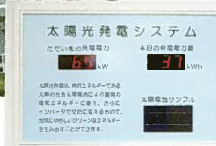
内視鏡センター/薬剤部/クリニカルエンジニア部/栄養部(厨房)/物流センター/中央滅菌室  
中央監視室/売店

B1F

## 建築設備



●太陽光発電



●免震構造



●屋上ヘリポート



●屋根付き歩廊



●燃料電池



●コージェネレーションシステム



# 地域住民のための救急医

## 救急災害医療センター

### 24時間365日体制で、迅速・的確に対応する地域の中核センター

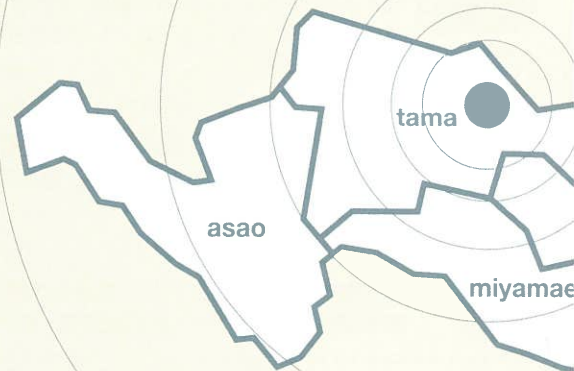
本病院の特色である一次・二次救急医療、小児救急医療、災害時医療に対応するセンターです。24時間365日体制で、小児科を含む全科対応型の救急医療施設となっています。ここは処置室2室、予備室1室、集中治療室（ICUおよびCCU）10床と一般診察室3室、婦人科・泌尿器科診察室1室、外来観察ベッド10床を有しています。救急外来では救急の主要な疾患に迅速に対処するため、救急専任医と小児科、循環器内科、脳神経外科の専門医が24時間、救急隊とホットラインで連絡をとり対応します。救急外来へ直接来院した患者さんへの時間外診療も実施。救急処置後の入院も受け入れています。

ICUでは①二次救急②単一診療科で診療可能な三次救急③院内発症救急④手術後にICU管理を必要とする合併症例などの患者さんの集中治療を、CCUでは循環器内科救急の集中治療を行っています。また、地震等の災害時における医療提供の拠点として機能できるよう屋上にヘリポートを設置、救急医療のための体制が整えられています。



#### ●ICU/CCU

集中治療室（10室）を備え、電子カルテシステム・生体監視モニターで患者さんの全身管理に対応



#### ●屋上ヘリポート

地震などの災害時や救急医療に対応



#### ●受付



#### ●処置室

外来では二次救急の患者さんを24時間体制で診療



#### ●救急車搬送



# 療とプライマリーケア

## 医療相談センター

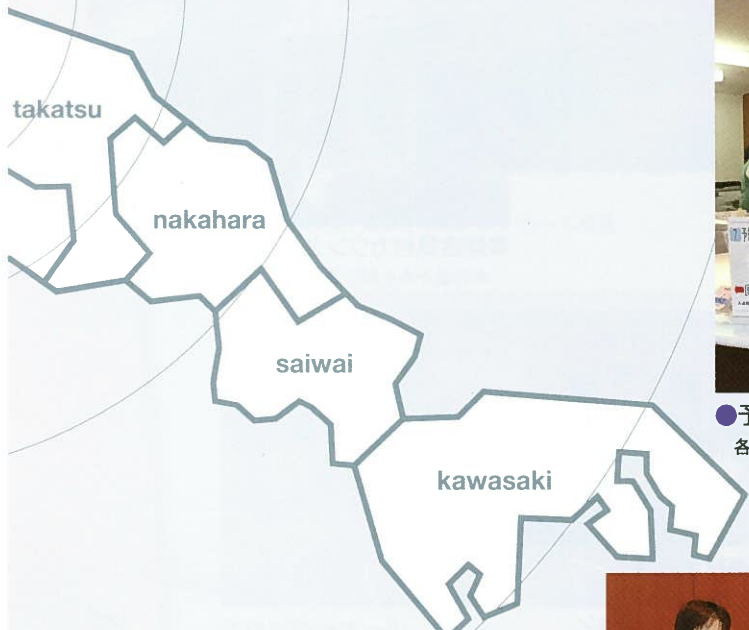
### 徹底した相談、対話・地域連携の充実を目指す

医療相談センターは、患者さん中心の医療サービスを実践する部門です。

当センターは、医師、看護師、ソーシャルワーカー、メディカルコーディネーター、事務職員等が協働し、各種医療福祉制度の活用、退院後の療養に関する相談、受診・入院に際して感じられた疑問・ご意見や情報開示に関する相談などに対応しています。また管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など多職種と協力して患者さんのさまざまな問題に対処しています。

平成23年3月からは、川崎市より地域医療支援病院の承認を受け、地域連携の窓口として積極的に活動しています。当院と協定を締結した診療所を登録紹介医とし、登録紹介医からの紹介患者さんを積極的に受け入れています。そして、当院の治療が終了した時点で紹介元の医師に患者さんを逆紹介し地域連携の充実を図っています。

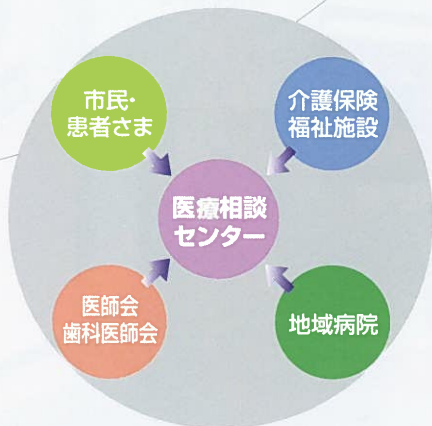
市民の皆様の健康維持増進に向けては、疾患に関する講義を中心とする市民健康講座や体験しながら学ぶミニ市民健康講座を定期的で開催し、地域に密着した活動に力を入れています。



●予約検査説明受付  
各検査室に向向くことなく、すべての予約検査の説明・質問に対応



●入院・退院受付



●相談室  
プライバシーを守りながら、医療領域に関するあらゆる相談を実施



# エントランスエリア

## 市民の皆さんに親しまれる病院を目指して

「自然のぬくもり、人のやさしさを感じさせるヒューマンスケールな施設」を設計のコンセプトに、従来の無機質な医療施設のイメージを一新しています。エントランス空間は広々として、ホール内は白と木目を基調とした内装、総合案内ホール壁面は木の葉をモチーフとしたガラスレリーフで装飾されモダンななかにも温かみのあるデザインとなっています。来院される患者さんの気分をやわらげ、地域の皆さんに親しまれる病院でありたい。エントランスエリアは、そのシンボルでもあります。



●総合受付カウンター  
木の温かみを感じる開放的なカウンター



●正面玄関



●総合案内  
来院者の質問にお答えする総合的な  
インフォメーション



●総合案内ホール



●自動再来受付機  
やさしい操作で手続きが可能



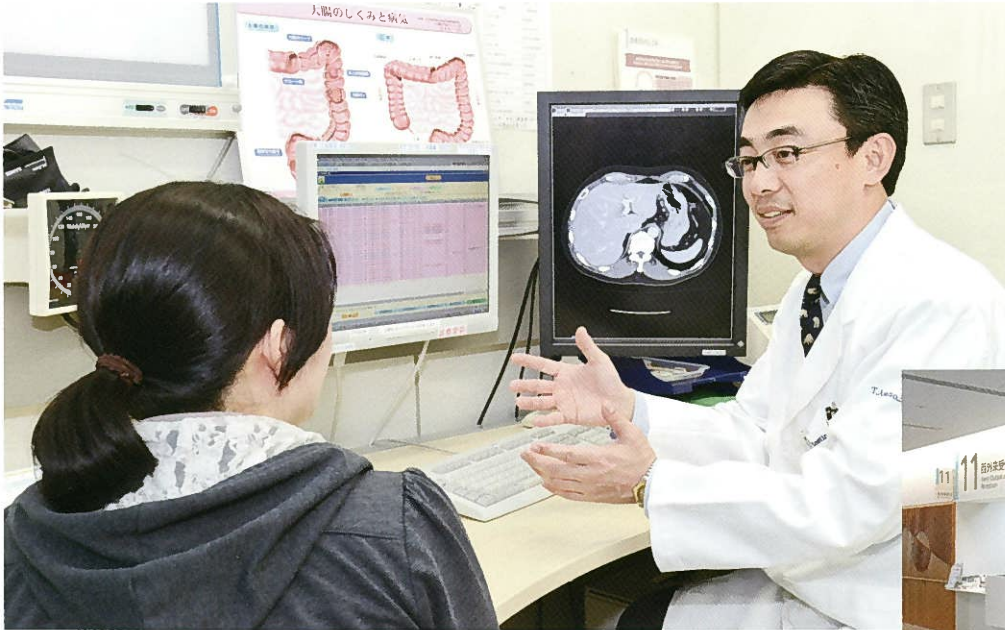
●自動精算機  
多彩な機能を備え、操作が簡単



# 外来

## 患者さんの負担を軽減、スムーズな受診を実現する外来ワンウェイシステム

本病院では、総合医療情報システムのもとにペーパーレス・フィルムレスの電子カルテを採用し、迅速で的確な診療に活用しています。予約は時間帯予約（30分さきみ）で、待ち時間を短縮。受付を済ませた患者さんは、東西各ブロックの外来受付を経由して外来待合ホールで待機していただきます。中待合入口のプラズマディスプレイにご自分の番号が表示されたら中待合に進み、診療終了後は検査・会計へと進みます。「待合」→「診察室」→「検査」→「会計」が一方通行の外来ワンウェイ方式で、患者さんに分かりやすく、スムーズな移動が可能です。



### ● 診察室

清潔で機能的な診察室、患者さんのプライバシーも尊重



### ● 外来受付・プラズマ表示板

見やすいプラズマディスプレイで患者さんを診察室へ誘導



### ● 外来待合ホール

壁面に着きのある木製レリーフを配置、患者さんへ安らぎを提供



### ● 外来中央処置室

リクライニングチェア、電動ベッドで快適性、安全性に配慮



### ● 中待合



### ● リハビリテーション科

理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3部門。最新機器を導入し、各専門が患者さまを親身にサポート



### ● 病理診断科

細胞・組織診断を担当。術中迅速診断、病理解剖も実施し最終診断に貢献



352

# 病棟

## 最適治療を実現する病棟構成、患者さんが安心できる快適な病室

病棟は3階から6階まで。8病棟366床を擁し、診療体制との緊密な連携のもと、機能的にレイアウトされています。また、患者さん本位の病院を実現するため、病棟全体にさまざまなアイデアが施されています。優しさや温かさを感じられるよう、各病棟は花の名前でネーミング、それぞれにカラーコンセプトも統一し、だれにも分かりやすい病棟づくりに配慮しました。各病室・ベッドは患者さんが安心して快適に過ごせるよう細部にわたって配慮。小児病棟には保育士が配置され、看護師とともに一人ひとりの発育に合わせた看護を行っています。



### ●ワークステーション

病棟の中央に配置され、開放的で明るいカウンター  
電子カルテに連動した看護支援システムで入院患者さんの  
看護過程を管理



### ●個室



### ●病室

最大4床室で1床あたりの床面積が広く、室内にはトイレと洗面所を配置、廊下側のベッドにも光庭で屋上から採光して明るい環境を実現





●ちびっこガーデン



●分娩室

最新の設備を備え、落ち着いた雰囲気分娩室



●小児病棟プレイルーム

遊具が沢山あるプレイルームとちびっこガーデンが隣接  
開放的で明るい空間



●LDR(Labor Delivery Recover)

入院から出産、退院まで同じ部屋で過ごすことができる  
産婦人科ルーム



●自動蓄尿器

病棟内のトイレに設置され、電子カルテシステムと連動



●介護浴室

寝たままでも入浴が出来る浴槽。浴槽が昇降することにより安全、快適に入浴



●ダイニング

患者さんのお食事や憩いの場として利用





# 診療施設

## 最新鋭の設備を有し、地域医療の向上を目指す

診療施設として救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部の4つを設置しています。腎センターは血液透析ベッド24床を有し、透析の導入と維持透析を行います。当病院が駅から徒歩数分という地の利が活かされ、患者さんの負担を軽減します。内視鏡センターでは、消化器および呼吸器の診断と治療を行い、最新の機器で専門的な診療を提供しています。

### 内視鏡センター



最先端の電子スコープを用いて苦痛のない正確な検査と高度治療を実施



### 腎センター（透析治療室）



透析部門中央監視システムを導入し、安全性の向上と業務の効率化を図る

### 健康診断部



川崎市の特定健診等  
市民を中心とした健康診断、  
職員健診等を実施



# 医療技術部門

## 最新の設備と技術を結集、患者さん本位の医療に貢献

医療技術部門には、臨床検査部・画像診断部・手術部・クリニカルエンジニア部の4部門があります。電子カルテに連動して、迅速に精密で的確な診断が可能な体制を整備。医療機器については、現代の高度な医療ニーズに応えるハイテクノロジーによって開発された機器・装置を多数導入、地域の先端医療を支えています。これら専門的医療知識と技術で対応するとともに、さらなる研究と技術向上に取り組んでいます。

### 臨床検査部



#### ●筋電図室

トレッドミル心電計で高度な検査が可能



#### ●輸血室



## 手術部



### ●手術室

手術室は6室。内視鏡手術機器・顕微鏡手術器など最新の映像モニタリングシステム等を設置



## 画像診断部



### ●MR装置（磁気共鳴画像診断）

1.5T装置を循環器科用、脳神経外科用2台設置、精密な画像を提供



### ●血管撮影装置

低線量・高画質が可能なバイブレンデジタルX線撮像システム

## クリニカルエンジニア部



各種医療機器を安全・的確に運用できるよう集中管理するセクション





# 医療支援管理部門

## 診療サポートと病院運営・管理業務を各々が連携して推進

薬剤部、栄養部、医療相談センターの医療支援3部門と医療情報部、治験管理室、経営企画部の病院管理部門合わせて6部門で構成されています。いずれも患者さん本位の医療と安全・的確な病院運営のために連携して業務を推進しています。

### 薬剤部



#### ●注射薬自動払出器

電子カルテシステムと注射調剤支援システムが連動し、迅速・正確に調剤

### 栄養部



常に衛生面に配慮し、食事提供と栄養・食事管理をサポート

## 看護部門

### 看護部



急性期医療と救急災害時医療に的確に応じる質の高い看護を目指す

## 教育研修管理部門

### 臨床研修センター



卒前教育から初期研修をサポートし、病院全体で生涯教育を提供





# サポート施設

## 環境との調和を考えた、使いやすい各種施設を完備

本病院は患者さんご家族、医師および看護師をはじめとする医療スタッフ、病院の運営スタッフ、関連業者など、多様な人々が関係し、また複合的な機能を有する施設です。各種のサポート施設は、それらがバランスよく機能し、安全・快適に維持されるよう配慮されています。社会的・公共的施設であり、生活空間でもある院内は、「自然」をイメージするデザインで統一され、周辺環境との調和も図られています。また、いざというときの防災体制も病院全体で整備しています。



●さわやかガーデン  
3階の屋上庭園  
患者さんに「癒しの空間」を提供



●セントラルガーデン  
3階の中庭、多摩川の流れをイメージした  
白砂と緑による美しいガーデン



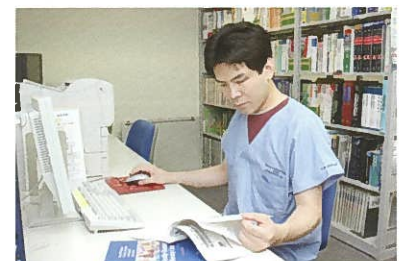
●コーヒーショップ



●売店



●講堂



●図書室



●カフェテリア



●ホワイエ



●職員食堂



# 総合医療情報システム

## 最新のITシステムが、安全で的確な医療を推進します

本病院の総合医療情報システム (HIS:Hospital Information System) は医療情報部が窓口となり、維持・管理しています。電子カルテを中心とするHISでは、各担当者によるパソコン入力によって迅速で正確な情報伝達ができ、患者さんにとっては診療、検査、会計などの待ち時間短縮が図れます。一方、医師や看護師、薬剤師などの医療スタッフは、院内随所にあるパソコン端末を通じて患者さんの情報を閲覧・共有できるため、患者さんご家族への病状説明などサービス向上に結びついています。

HISの活用で、患者さん個人の識別、処方や検査の重複防止、禁忌薬投与防止や薬剤情報提供によるリスク管理が可能となり、インシデント・アクシデント防止にも大きく貢献しています。また診療データを電子化して蓄積することにより各種情報の抽出と分析が可能です。HISの運用にあたっては、個人情報の保護に万全の配慮を行うとともに、患者さんと医療従事者の双方にとってさらに有用なシステムの構築を目指しています。



外来

受付

患者さんは自動再来受付機で予約を確認。30分きざみの予約のため待ち時間を短縮できます。



診察



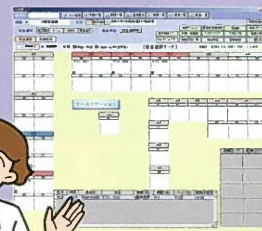
テンプレート画面で素早く入力ができ、迅速な診察が可能です。いつでもカルテ入力や参照ができ、付帯作業を軽減、インフォームドコンセントにも役立ちます。



病棟

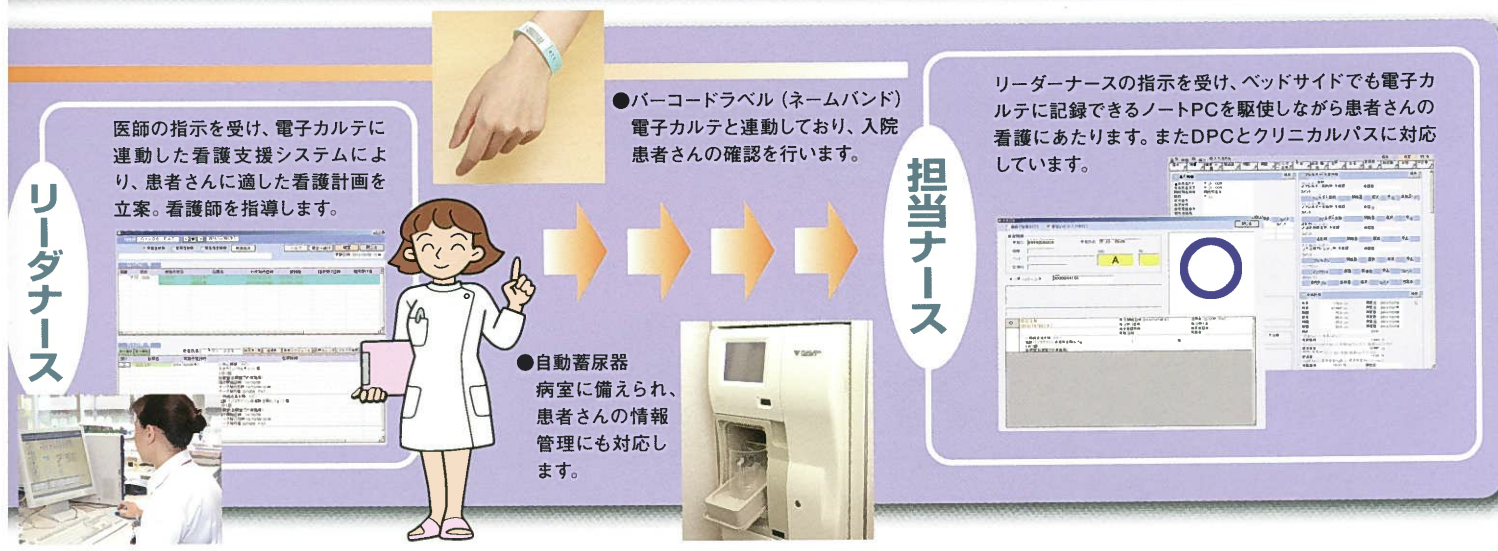
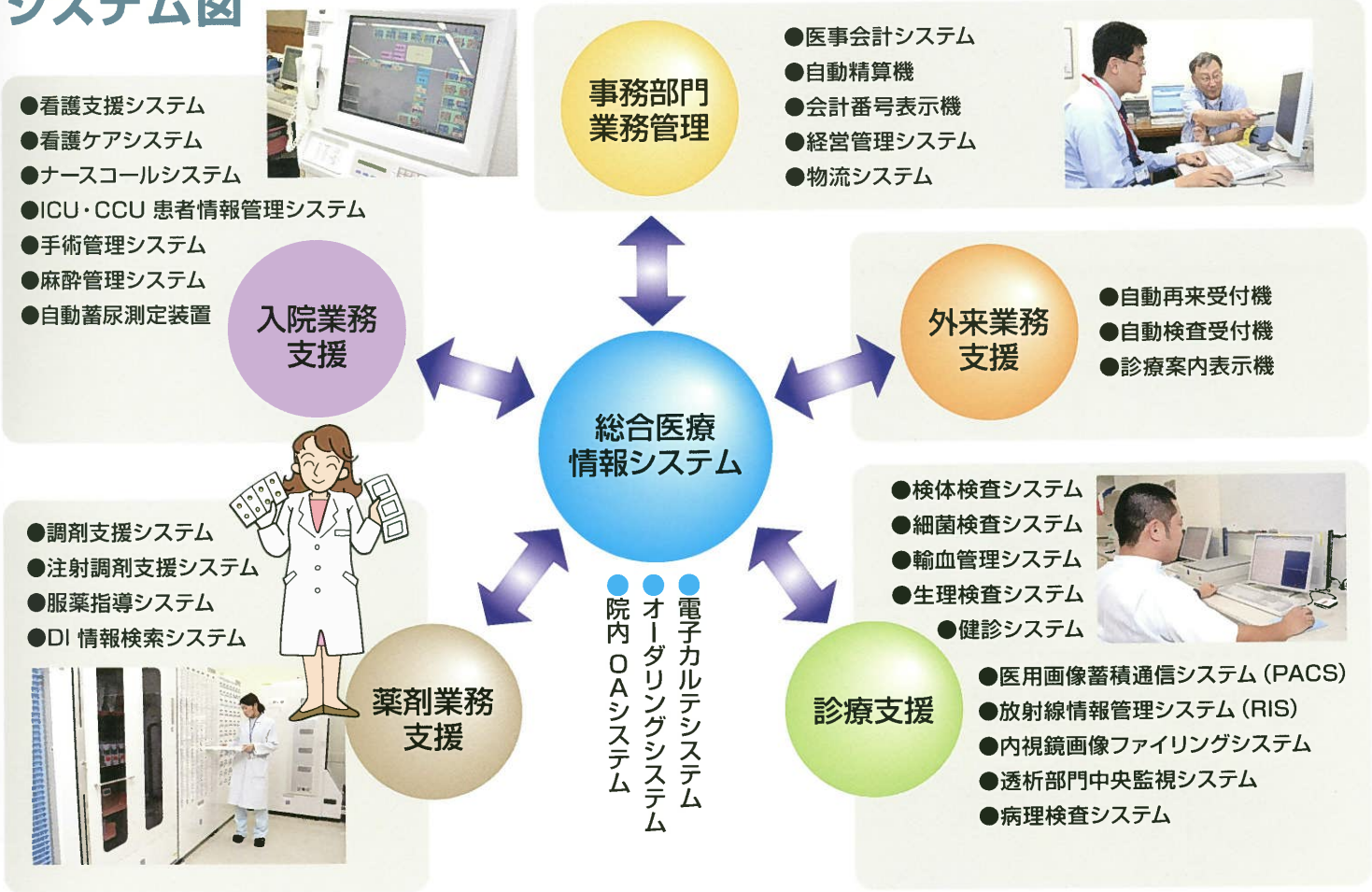
医師

いつでもパソコン画面に電子カルテを呼び出し、それまでの検査結果や診療経過から診断し、次のオーダーを入力できます。

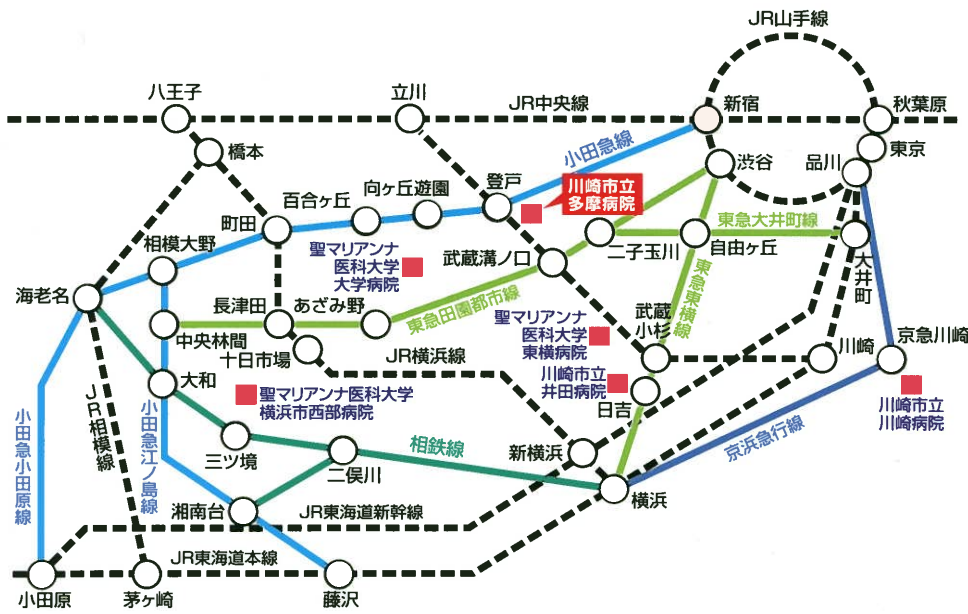




# システム図







- 電車／小田急線・JR南武線登戸駅徒歩3分
- バス／※菅生車庫、神木本町方面から
  - 登05系統 登戸行き「登戸」下車（登戸駅南北自由通路を渡ってください）
  - 登06系統 カリタス学園行き「多摩病院前」下車
- ※カリタス学園方面から
  - 登06系統 菅生車庫行き、又は鷺ヶ峰営業所前行き「多摩病院前」下車
  - 登21系統 新船島橋行き「多摩病院前」下車
- ※西菅団地、城下方面から
  - 登14系統 登戸駅行き、又は向ヶ丘遊園駅入口行き「登戸駅」下車（登戸駅南北自由通路を渡ってください）
- 車／市道小杉菅線を宿河原方面から左折していただき地下駐車場をご利用ください（178台収容 有料）



# 川崎市立多摩病院



指定管理者 学校法人 **聖マリアンナ医科大学**

〒214-8525 神奈川県川崎市多摩区宿河原1-30-37

TEL.044-933-8111 (代表)

<http://www.marianna-u.ac.jp/tama/>